

エゴマ選別機の経済性評価

福島県農業総合センター 企画経営部 経営・農作業科

1 部門名

普通作物－その他－収穫・乾燥・調製

2 担当者名

新妻俊栄

3 要旨

農業総合センターで開発したエゴマ選別機は製品化され、生産者等への利用が期待されていることから、県内現地調査を基にエゴマ選別機使用による経済性を明らかにした。搾油用に選別する場合、手選別より8割程度の作業時間の削減が可能であり、エゴマ収量が10aあたり30kgの場合で栽培面積300a程度を確保できれば、手選別よりも費用の削減が可能である。

- (1) エゴマ選別機は年800kg以上の選別処理をすることで手選別より費用削減になる。作業者はエゴマ選別中、同時に他作業も従事できるため、更なる費用削減効果も期待できる。
- (2) エゴマ選別機導入のための経済的な下限面積は、収量が10aあたり15kgの場合は528a、10aあたり30kgの場合は264aであった(図1)。

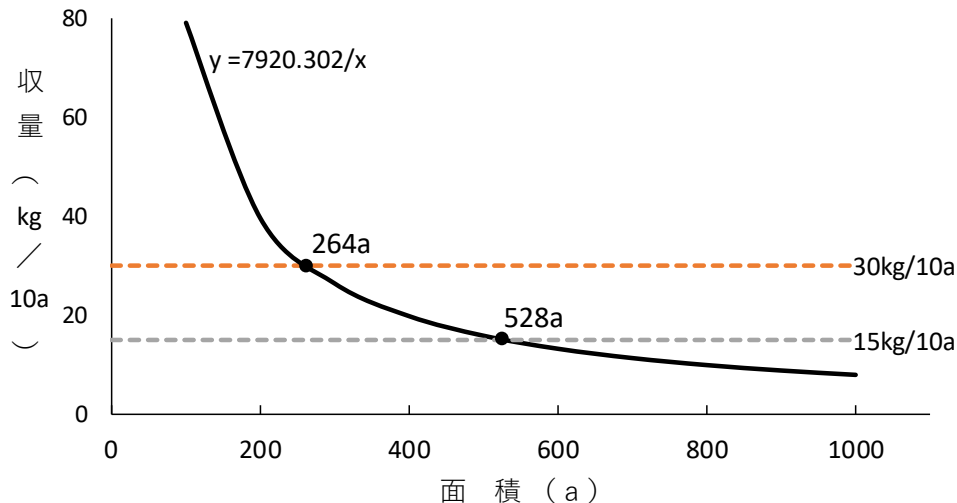


図1 エゴマ選別機導入のための経済的下限面積と収量

- 注1) 搾油用の手選別を選別機使用に置き換えた費用の等式から作図
2) 手選別は労賃、選別機使用は労賃+機械費+電気料金として試算
3) 使用したエゴマ選別機は日ノ出工機株式会社製「福箕ふくみK9」
4) 労賃1000円/h,選別機202万円(耐用年数7年,修理費係数5%),電気料金1.02円/h

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和元年度～令和3年度
- (2) 研究課題名 菜食健美ふくしま！地域特産物活用事業

5 主な参考文献・資料

- (1) エゴマ選別機の開発 平成30年度参考となる成果